

# 医療の質向上のための体制整備事業 ～現況について～

2021年6月24日(木)

亀田 俊忠

公益財団法人日本医療機能評価機構 理事  
医療の質向上のための体制整備事業 担当

# 事業目的

医療の質指標の活用を通じて、

- 現場の自主的な質改善活動を充実させる。
- 医療の質を可視化し信頼性を向上させる。



# 事業運営体制

医療の質の評価・公表等推進事業  
参加病院団体及び参加病院など

臨床指標を活用した質改善活動に  
意欲ある医療関連施設など

## 医療の質向上のためのコンソーシアム (Q I コンソーシアム)

医療の質向上のための活動の“場”

## 医療の質向上のための協議会

各種施策等の企画・検討、実施及び「医療の質向上のためのコンソーシアム」の運営



### Q I 活用支援部会

- ・ 質向上のための取組事例の共有・普及活動
- ・ 医療の質指標等の評価・分析支援
- ・ 中核人材の養成 など

### Q I 標準化部会

医療の質指標等の標準化および公表に向けたあり方について  
検討 など

厚生労働省医政局

# 事業内容

## 取組の共有・普及

- 好事例の収集・調査分析を行い、成功要因を基に改善モデルを作成（手引き、事例集など）
- コンソーシアムへの参加を通じて、取組の共有・普及を図るなど強固なネットワークの構築

## 人材育成

- 医療の質指標等を使いこなせる人材に必要な知識・スキルを整理し、コンピテンシーを設定
- 上記に必要な養成カリキュラムの検討及び養成セミナーの試行開催

## 活動の“場”の提供

医療の質向上のためのコンソーシアムの発足・運営

## 医療の質指標等の標準化、公表

- 各団体の取組を踏まえ、医療の質指標等の標準化に向けたあり方及び標準化指標の選定方法等を検討
- 医療の質指標等の評価及び公表のあり方について検討

## 医療の質指標等の評価・分析

- 医療の質指標等に関する各病院の取組を支援するための相談窓口の設置
- 医療の質指標等の定義に関する最新情報の入手及び公開
- 管理者層等を対象としたセミナーの開催

## 事業基盤の整備

- 安定した事業運営（事業継続性）
- 質改善意欲を高めるための仕組づくり
- 魅力ある事業に向けた工夫（参加医療機関の拡大）

# これまでの主な活動実績



凡例 終了 対応中

| 年度            | 2019(令和元年)   |   | 2020(令和2年)                                       |                                    |            |                          | 2021(令和3年)    |
|---------------|--|---|--|------------------------------------|------------|--------------------------|---------------|
|               | 9-12   | 1-3   | 4-6  | 7-9                                | 10-12      | 1-3                      | 4-6           |
| Q I コンソーシアム   |  | 第1回(3/12)<br>新型コロナウイルス感染症影響拡大により中止                    |  |                                    |            | 第2回(2/13)                |               |
| 医療の質向上のための協議会 | 第1回(9/25)  | 第2回(2/13)   |  | 第3回(9/3)                           | 第4回(12/10) | 第5回(1/29)<br>第6回(3/25)   |               |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>設置趣意書の策定</li> <li>医療の質指標の収集</li> <li>オフィシャルサイト(WEB)の公開</li> </ul> |   | 新型コロナウイルス感染症影響拡大により、パイロットの実施・運用を見直し（開始時期5月→下期以降） |                                    |            |                          |               |
| パイロットの企画      |  | 今後の事業展開について検討（『医療の質指標等を活用した質改善活動の普及・促進に関する中間とりまとめ』公開） |  |                                    |            | 医療の質指標等の標準化・公表のあり方について検討 |               |
|               |  |   |  |                                    |            | パイロットの実施（23病院参加中）        |               |
| 部会            | 合同   | 第1回(10/31)<br>第2回(11/28)                              |  |                                    |            |                          |               |
|               |  | パイロットの詳細化検討   |  |                                    |            |                          |               |
|               | Q I 活用支援   |   | 第1回(2/6)<br>第2回(2/26)                            |                                    | 第3回(7/2)   | 第4回(12/16)               | 第5回(3/1)      |
| パイロットの詳細化検討   |  | 中核人材養成におけるコンピテンシー・教育プログラムの検討                          |  |                                    | 研修試行(3病院)  |                          | パイロット(研修会)の開催 |
| Q I 標準化       |  | 第1回(1/16)<br>第2回(1/28)                                | 第3回(4/23)<br>第4回(5/27)<br>第5回(6/15)<br>第6回(6/22) | 第7回(7/17)<br>第8回(8/7)<br>第9回(8/20) |            | 第10回(2/19)<br>第11回(3/19) | 第12回(5/17)    |
|               | パイロットにおける取扱指標の検討,手順書の作成  |   |  |                                    |            | 医療の質指標開発・保守ガイドの検討        |               |

\*パイロットとは、当事業で作成する成果物を各協力団体から推薦いただいた病院と共に検討を進める事業。参加病院は、当事業が企画する各種施策をもとに自主的な質改善活動を実施し、病院間で取組を共有する。

# Q I コンソーシアム

- Q I コンソーシアムは、当事業が実施する研修会や質改善プログラムへの参加等を通じて、医療の質向上に積極的に取り組み、事例や経験の共有などを目的とした、全国の医療施設や関係者による活動の場(コミュニティー)である。
- これまで2回催事を企画し、今年度も開催を計画している。

| 年度  | プログラム                            | 主な内容(19年度は計画,20年度は実績を表記)   | 備考   |
|---|----------------------------------|--|--|
| 2019<br>(開催中止)<br><br>* 新型コロナウイルス感染症影響拡大により中止し、資料提供のみ実施 | 事業背景・概要の説明                       | 当事業の設置背景及び事業概要について説明。  | 当日配布資料を当事業オフィシャルサイト上で公開中。<br><br>       |
|   | 作業部会の活動報告(活用支援/標準化)              | 各作業部会の活動及び検討状況について報告。  |  |
|   | 開催記念シンポジウム                       | 協力団体(12団体)の代表を一堂に介し、医療の質,可視化,公表について意見交換を実施。  |  |
| 2020<br>(3/12開催)  | 第一部<br>医療の質向上のための体制整備事業報告        | 当事業の設置背景及び事業概要について説明。  | 当日配布資料及び動画を当事業オフィシャルサイト上で公開中。<br><br> |
|   | 第二部(事例紹介)<br>医療の質指標を活用した病院マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療の質指標の活用について</li> <li>• 海外における医療の質指標の活用動向について</li> <li>• Patient Experience(PX)を用いた医療の質評価・改善</li> <li>• 病院経営における医療の質指標の活用</li> </ul> |  |

# 医療の質向上のための協議会(2021年6月24日現在)



|    | 委員名（敬称略） | 所属                 | 役職        | 備考    |
|----|----------|--------------------|-----------|-------|
| 1  | 石川 直子    | 独立行政法人地域医療機能推進機構   | 理事        |       |
| 2  | 岡田 千春    | 独立行政法人国立病院機構       | 審議役       |       |
| 3  | 草場 鉄周    | 医療法人北海道家庭医療学センター   | 理事長       |       |
| 4  | 楠岡 英雄    | 独立行政法人国立病院機構       | 理事長       | 委員長   |
| 5  | 桜井 なおみ   | キャンサー・ソリューションズ株式会社 | 代表取締役社長   |       |
| 6  | 佐藤 朗     | 独立行政法人労働者健康安全機構    | 理事        |       |
| 7  | 進藤 晃     | 公益社団法人 全日本病院協会     | 東京都副支部長   |       |
| 8  | 西尾 俊治    | 一般社団法人 日本慢性期医療協会   | 常任理事      |       |
| 9  | 橋本 省     | 公益社団法人日本医師会        | 常任理事      |       |
| 10 | 原 義人     | 公益社団法人全国自治体病院協議会   | 副会長       | 委員長代理 |
| 11 | 福井 次矢    | 一般社団法人日本病院会        | QI委員会 委員長 |       |
| 12 | 松原 了     | 社会福祉法人恩賜財団済生会      | 理事        |       |
| 13 | 松原 為人    | 全日本民主医療機関連合会       | 理事        |       |
| 14 | 矢野 真     | 日本赤十字社 医療事業推進本部    | 総括副本部長    |       |
| 15 | 吉川 久美子   | 公益社団法人 日本看護協会      | 常任理事      |       |

# 医療の質向上のための協議会

- 協議会は、各種施策等の企画について検討、実施及び「医療の質向上のためのコンソーシアム」の運営を主たる役割としている。
- これまで6回会議を開催し、医療の質指標を活用した質向上について様々な議論を実施している。

## 主な検討事項

## 主な成果物等

|                   |   |   |
|-------------------|---|---|
| 事業の方向性            | 先行事業(医療の質の評価・公表等推進事業)の成果、課題を踏まえ、実施要綱で定義する各種事項の対応方針について検討を進めてきた。   | 設置趣意書<br>                          |
| パイロットの企画・運営       | 成果物の設定、協力病院の募集・推薦、各種プログラムについて検討を進めてきた。新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、複数回計画の見直しを行い、当初計画から約半年遅れで運用を開始している。  | <#14,16,19参照>   |
| Q I コンソーシアムの企画・運営 |   | <#6参照>  |
| オフィシャルサイト(WEB)の公開 | 主なコンテンツ <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要</li> <li>・指標検索(協力団体が利用する指標の一覧化)</li> <li>・質改善支援ツール(教育動画等)</li> <li>・医療の質向上のための協議会(会議資料等)</li> <li>・Q I コンソーシアム(資料等)</li> </ul> | 医療の質向上のための体制整備事業<br>オフィシャルサイト<br> |
| 今後の事業展開           | 以下2点を中心に、現在検討中。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の質向上のための具体的な取組の共有・普及のあり方</li> <li>・医療の質指標等の標準化・公表のあり方</li> </ul>  | <#10-12,別添資料参照>   |



# 現在検討中の議論

- 実施要綱において医療の質向上のための具体的な取組の共有・普及、医療の質指標等の標準化・公表について検討するよう示されおり、現在、議論を重ねている。
- 本年3月、議論の経過について中間とりまとめを作成したところである。

## 医療の質指標等を活用した質改善活動の普及・促進に関する中間とりまとめ

### 1. 医療の質向上のための具体的な取組の共有・普及のあり方

- (1) 取組の方向性
- (2) 具体的な施策
- (3) その他の意見

### 2. 医療の質指標等の標準化・公表のあり方

- (1) 議論の進め方
- (2) 医療の質指標等の標準化のあり方
  - ア 現状と課題
  - イ 取組の方向性
- (3) その他の意見
  - ア 医療の質指標等の標準化について
  - イ 医療の質指標等の公表について
- (4) 今後の検討課題について

医療の質指標等の標準化・公表のあり方に関する中間とりまとめ(2021年3月31日)



# 医療の質指標等を活用した質改善活動の普及・促進に関する中間とりまとめ

## (1. 医療の質向上のための具体的な取組の共有・普及のあり方)

- 医療の質向上のための取組として、全国の医療機関を対象に医療の質指標を活用した改善活動を普及・促進させるため、具体的な施策について議論を行った。
- 未だ医療の質指標(以下「質指標」という。)を活用した改善活動に参加していない医療機関（「医療の質の評価・公表等推進事業(2010-2018年度)」に不参加の医療機関等）を主な対象として施策の展開を図ることとした。
- また、質指標の測定意義(質指標は医療の質向上につなげるための試みであり、測定できなければ改善はできない)について理解を促すことが強調された。

| 重点 | 施策                                    | 主な内容  |
|----|---------------------------------------|---|
|    | 施策1<br><b>質指標を活用した質改善マニュアルの周知</b>     | 検討する改善支援パッケージ*)を全国一斉に周知し、質指標を活用した質改善活動に役立てていただく。  |
|    | 施策2<br><b>P D C A事業の企画、運営</b>         | 参加病院を募り、共に質指標を活用しながらP D C Aサイクルを実施し、参加病院間の交流を通じて質改善を促進させる。  |
|    | 施策3<br><b>管理者、実務者を対象とした研修事業の企画、運営</b> | 管理者及び実務者を対象に質指標を活用した質改善に関する研修を展開する。   |
| ★  | 施策4<br><b>改善事例等の情報共有</b>              | 以下について医療の質向上のためのコンソーシアム(Q I コンソーシアム)を通じて共有する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療の質指標 (2021年6月24日現在、1,591指標)</li><li>・ 質指標を活用した事例及び蓄積されたノウハウ</li></ul> |

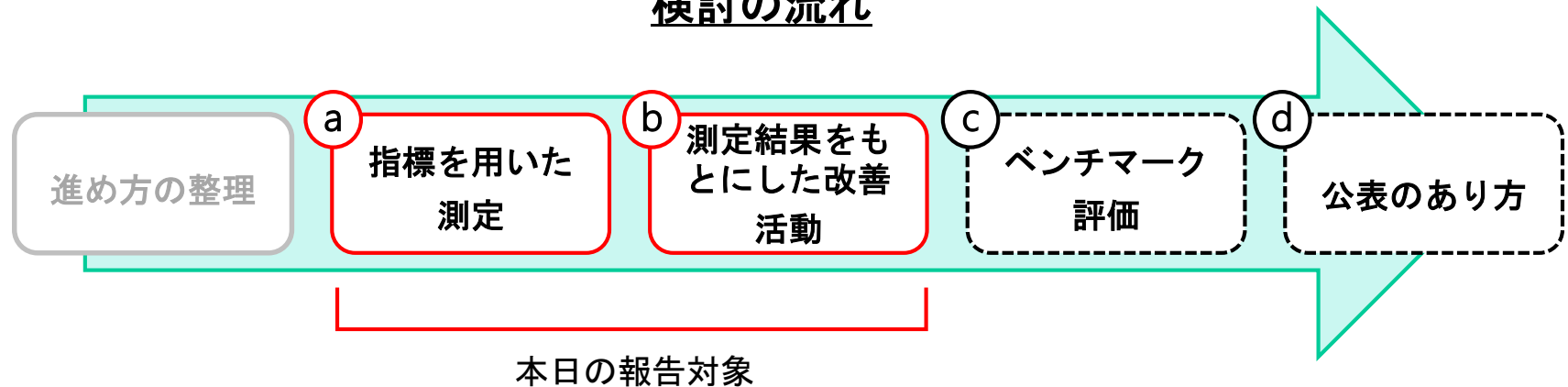
\* 改善支援パッケージとは、医療の質指標を活用した改善活動を普及させるために当事業が開発する成果物の総称。主に、質改善を進めるためのマニュアル、質改善を推進できる人材養成カリキュラム等がある。

# 医療の質指標等を活用した質改善活動の普及・促進に関する中間とりまとめ

## (2. 医療の質指標等の標準化・公表のあり方)

- 先行事業\*)では、質指標の自院における経年変化及び他院との比較を可能とするためには、質指標の要件を標準化すべきではないかと問題提起がされている。
- 一方、標準化と称して質指標の固定化を行うことは、各医療機関等のこれまでの努力に影響を及ぼす、質指標それ自体が質を表すものとはなり得ないなど、質指標の標準化については多様な意見がある。
- 以上より、慎重かつ丁寧な議論とするため、進め方の整理から議論を開始した。
- 議論は、4つの論点(a)指標を用いた測定,b)測定結果をもとにした改善活動,c)ベンチマーク評価,d)公表のあり方)を順に進めることとし、当座はa),b)に焦点を当てることとした。

### 検討の流れ



\* 先行事業とは、厚労省が2010年度から18年度まで実施した「医療の質の評価・公表等推進事業」。  
9団体、約1,000病院が参加した。

# 続き)

前述するa),b)について議論を進めた結果、次のような取組の方向性が示された。

- a)については、質指標の基本的な考えをとりまとめた「医療の質指標開発・保守ガイド(仮称)」を整備し、医療の質向上における質指標の理解を促進させる。
- b)については、質指標の活用に関する基本的な改善活動の進め方を整備する。

## 取組の方向性

|                  |  |
|------------------|--|
| a)指標を用いた測定       | 質指標の意義・目的,対象,要件,位置づけ・取扱,留意すべき点など、基本的な考えを「医療の質指標開発・保守ガイド(仮称)」としてまとめる。 |
| b)測定結果をもとにした改善活動 | 質指標の活用に関する基本的な改善活動の進め方について整備する(P D C A事業の企画・運営(#10 施策2))。            |

▶ 今後は、ベンチマーク評価及び公表に焦点を当て議論を深めるとともに、現在モデル事業として取組を進めるパイロット及びガイドの整備等を踏まえ、最終的には、医療の質指標を活用した質改善活動を全国に普及・促進させるために当事業の考えをとりまとめる予定である。

# 改善支援パッケージ (Q I 活用支援部会 / Q I 標準化部会)

- 医療の質指標を活用した改善活動を普及させるため、改善支援パッケージを開発し、全国に展開する予定である。
- なお、改善支援パッケージは当事業が開発する成果物の総称であり、具体的には以下について検討を進めている。

## 改善支援パッケージ

### 質改善実践マニュアル

医療の質指標を活用した質改善活動の考え方、進め方などを纏めた医療機関向けマニュアル

活用  
支援

### 質改善支援運用マニュアル

医療機関の質改善活動を支援するための協力団体事務局向け対応マニュアル

活用  
支援

### 人材養成カリキュラム

医療の質指標を活用した改善活動を推進できる医療機関、協力団体事務局向け人材養成のカリキュラム・プログラムなど

活用  
支援

### 既存指標の整理

国内外で設定される医療の質指標を収集、整理し一覧化（オフィシャルサイトで公開）

標準化

### 医療の質指標開発・保守ガイド(仮称)

我が国における医療の質指標の標準的な考え方、指標の開発・運用方法を体系的に整理した医療機関、協力団体事務局向けガイド

標準化

担当

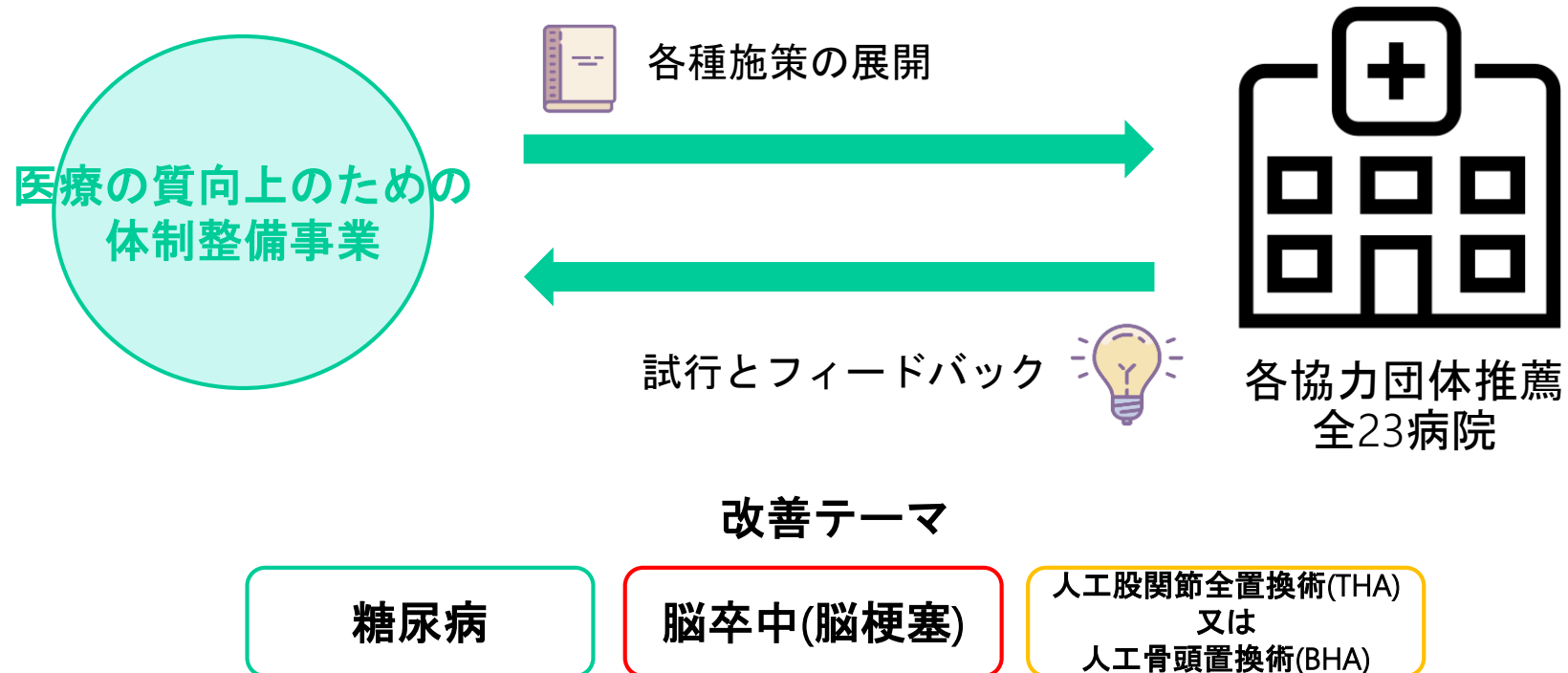
活用支援  
部会

標準化  
部会

# 改善支援パッケージ開発方法(パイロットの実施)

## パイロット

改善支援パッケージは、各協力団体から推薦いただいた病院と共に検討を進めている(通称：パイロット)。パイロットに参加する病院は、当事業が企画する各種施策をもとに自院において質改善活動を進めていただく。



# 改善支援パッケージ(Q I 活用支援部会)

- Q I 活用支援部会では、質改善実践マニュアル,質改善支援運用マニュアル,人材養成カリキュラムの開発を主な作業として検討を進めている。
- 当座の取組として、人材養成カリキュラムを検討し、現在パイロットで運用を行っている。

## 改善支援パッケージ

### 質改善実践マニュアル

医療の質指標を活用した質改善活動の考え方、進め方などを纏めた医療機関向けマニュアル

### 質改善支援運用マニュアル

医療機関の質改善活動を支援するための協力団体事務局向け対応マニュアル

### 人材養成カリキュラム

医療の質指標を活用した改善活動を推進できる医療機関,協力団体事務局向け人材養成のカリキュラム・プログラムなど

昨年度の重点検討

### 既存指標の整理

国内外で設定される医療の質指標を収集、整理し一覧化（オフィシャルサイトで公開）

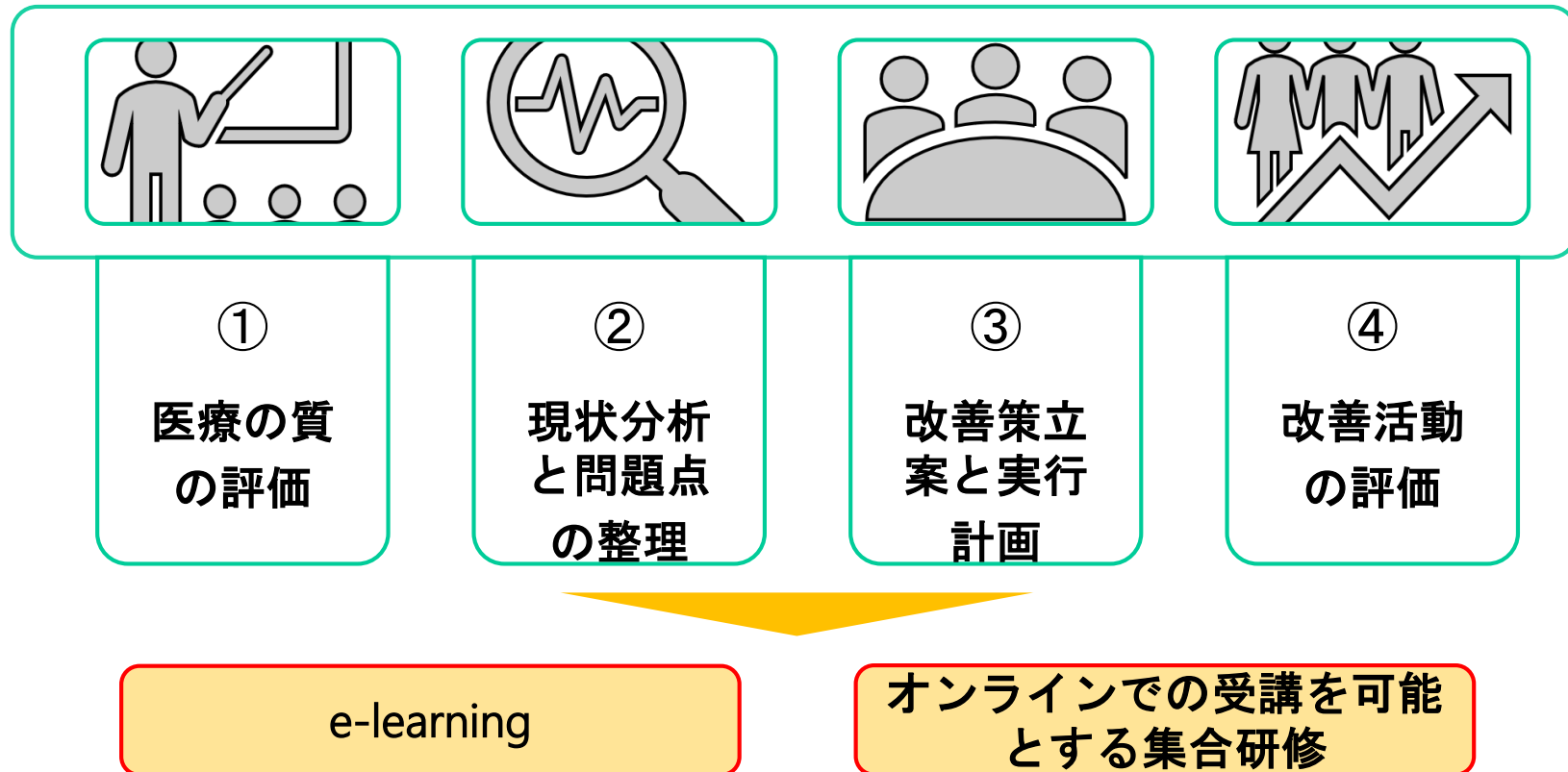
### 医療の質指標開発・保守ガイド(仮称)

我が国における医療の質指標の標準的な考え方、指標の開発・運用方法を体系的に整理した医療機関,協力団体事務局向けガイド

# 人材養成カリキュラムの概要(Q I 活用支援部会)

- 医療の質指標を使いこなし、質改善活動を実践できる人材(チーム)に必要な知識・スキルをコンピテンシーとしてとりまとめた。
- またコンピテンシーを充足する人材養成カリキュラム・プログラムを作成した。

## 医療の質指標を活用した改善活動を実践できる人材(チーム)のコンピテンシー





# 改善支援パッケージ (Q I 標準化部会)

- Q I 標準化部会では、既存指標の整理、医療の質指標開発・保守ガイド(仮称)の開発を主な作業として検討を進めている。
- 当座の取組として、協力団体が開発・運用する指標を許諾を得て収集し、当事業オフィシャルサイトで閲覧できるようにした。

## 改善支援パッケージ

### 質改善実践マニュアル

医療の質指標を活用した質改善活動の考え方、進め方などを纏めた医療機関向けマニュアル

### 質改善支援運用マニュアル

医療機関の質改善活動を支援するための協力団体事務局向け対応マニュアル

### 人材養成カリキュラム

医療の質指標を活用した改善活動を推進できる医療機関、協力団体事務局向け人材養成のカリキュラム・プログラムなど

昨年度の重点検討

### 既存指標の整理

国内外で設定される医療の質指標を収集、整理し一覧化（オフィシャルサイトで公開）

### 医療の質指標開発・保守ガイド(仮称)

我が国における医療の質指標の標準的な考え方、指標の開発・運用方法を体系的に整理した医療機関、協力団体事務局向けガイド

# 既存指標の一覧化(Q I 標準化部会)

協力団体のご理解、ご協力のもと、提供いただいた医療の質指標は当事業のオフィシャルサイトで検索・閲覧可能としている。

(登録数: 1,591指標 2021年6月24日現在)

## 検索結果

本システムのご利用にあたってはこちらをご参照ください。

1591件中の 20件表示

| 最新▲ | 団体名▲ | 年度▲  | 指標名称▲   | データソース▲ | SPO▲    | 更新日▲       | 閲覧数▲ |
|-----|------|------|---|---------|---------|------------|------|
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">入院患者満足度「a.全体としてこの病院に満足していますか？」</a>            | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 17   |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">入院患者満足度「b.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について…」</a> | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 3    |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">入院患者満足度「c.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について…」</a> | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 3    |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">外来患者満足度「a.全体としてこの病院に満足していますか？」</a>            | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 3    |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">外来患者満足度「b.診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十…</a>   | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 6    |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">外来患者満足度「c.診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見…</a>   | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 6    |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">職員満足度「a.友人や家族が病気や怪我を患ったときに、あなたの施設を薦めたい…</a>   | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 14   |
|     | 共通QI | 2017 | <a href="#">転倒・転落 a.入院患者での転倒転落発生率</a>                     | サーベイランス | Outcome | 2021/03/31 | 11   |

検索

フリーワードを入力

AND検索  OR検索

### 病院団体名

- 厚労科研 共通QIセット
- 恩賜財団済生会
- 国立病院機構
- 全国自治体病院協議会
- 全日本病院協会
- 全日本民医連
- 地域医療機能推進機構
- 日本看護協会
- 日本赤十字社
- 日本病院会
- 日本慢性期医療協会
- 労働者健康安全機構

年度

検索、閲覧はこちら



<https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/>

# パイロットに適用中の指標一覧(Q I 標準化部会)

## 糖尿病

|   |   |
|---|---|
| 1 | インスリン療法を行っている外来糖尿病患者に対する自己血糖測定の実施率                    |
| 2 | 外来糖尿病患者に対する管理栄養士による栄養指導の実施率                           |
| 3 | 外来糖尿病患者に対する腎症管理率                                      |
| 4 | 糖尿病の治療薬が処方されている65歳未満の外来患者に対するHbA1cの最終検査値が7.0%未満の患者の割合 |
| 5 | 糖尿病の治療薬が処方されている65歳以上の外来患者に対するHbA1cの最終検査値が8.0%未満の患者の割合 |

## 脳卒中(脳梗塞)

|   |  |
|---|--|
| 1 | 脳梗塞で入院した患者に対するパスを適用した患者の割合                 |
| 2 | 脳卒中患者に対する入院後2日以内に抗血小板療法もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合  |
| 3 | 脳梗塞患者に対する入院後3日以内に脳血管リハビリテーション治療が開始された患者の割合 |
| 4 | 心房細動を伴う脳卒中患者に対する退院時抗凝固薬の処方割合               |
| 5 | 脳梗塞で入院した患者に対する入退院支援加算を算定した患者の割合            |

## 人工股関節全置換術(THA)又は人工骨頭置換術(BHA)

|   |  |
|---|--|
| 1 | 人工股関節全置換術または人工骨頭置換術施行患者に対する術前1時間以内の予防的抗菌薬の投与率  |
| 2 | 人工股関節全置換術または人工骨頭置換術施行患者に対する肺血栓塞栓症の予防対策実施率      |
| 3 | 人工股関節全置換術または人工骨頭置換術施行患者に対する術後4日以内のリハビリテーション開始率 |
| 4 | 人工股関節全置換術または人工骨頭置換術施行患者に対する抗菌薬3日以内の中止率         |
| 5 | 人工股関節全置換術または人工骨頭置換術施行患者に対する術後平均在院日数            |

# 今後の予定(案)

|               |          | 年度   | 2021(令和3年)                                  |                  |  |
|---------------|----------|--|---|------------------|--|
|               |          | 月  | 6-8   | 9-12             | 1-3  |
| Q I コンソーシアム   |          |  | パイロット中間報告会                                  |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>第3回(3月頃)</li> <li>パイロット最終報告会</li> </ul> |
|               |          |  | Q I コンソーシアムの企画・準備                           |                  |  |
| 医療の質向上のための協議会 |          | 第7回(7/27予定)  | 第8回(11月頃)                                   |                  | 第9回(2月頃)   |
|               |          | 医療の質指標等の標準化・公表のあり方について検討   |   |                  |  |
|               |          | パイロットの実施(23病院)   |   |                  |  |
| 部会            | Q I 活用支援 |  | パイロット中間報告会の企画・準備                            | パイロット最終報告会の企画・準備 |  |
|               |          |  | 医療の質指標を活用した質改善に適用できる各種ツールの検討<br>(取組事例の共有など) |                  |  |
|               |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>パイロットの各種プログラム検証・修正</li> <li>P D C A 事業実施に向けた準備</li> </ul> |   |                  |  |
|               | Q I 標準化  | 医療の質指標開発・保守ガイドの検討<br>(基準編)   | 医療の質指標開発・保守ガイドの検討<br>(本編)                   |                  |  |
|               |          | パイロット適用指標検証  |   |                  |  |